

【平成15年度専修学校社会人キャリアアップ教育推進事業】

事業名	IT技術を活用した建築技術者の育成と実践		
学校法人名	浅野工学園		
学校名	浅野工学専門学校		
代表者	浅野 久彌	担当者・連絡先	加藤 直樹 TEL:045-421-0403

<事業の概要>

本事業の実施方法は以下のとおりである。

- (1) IT技術を活用した建築技術者教育プログラム開発プロジェクトのイメージ
IT技術を活用した建築技術者教育プログラム開発の委員会「建築情報技術者教育実施委員会」と、実証実験の計画と実施を具体的に「建築情報コンソーシアム」を設置し、業界団体、ソフトウェアベンダー、教育機関が提携し、建築技術者及び建築関連企業を総合的にサポートする組織スタイルとする。
- (2) 教育プログラム全体像の体系的構成
実証講座のニーズ調査
各系統別による教育要素の整理
- (3) IT技術を活用した建築技術者教育プログラムの開発
- (4) 実証講座の実践
- (5) 事業進捗状況の報告と確認
打合せ協議会等の開催
教育講座（実証講座）の実施報告及び講座カリキュラムの改良

<成果>

平成15年度専修学校社会人キャリアアップ教育推進事業の「IT技術を活用した建築技術者の育成と実践」において、「建築情報コンソーシアム」を設置し、「建築コンテンツ講座」「情報通信技術講座」「建築CAD初級」「建築CAD実践」のそれぞれの講座を演練し、能力の進展度を「小テスト」によって確認した。ほぼ予定の能力向上が評価できる成果をあげた。本事業の成果を下記に記す。

- (1) 神奈川、東京、大阪の三都市で、建築情報技術者として、どのような知識・技術が求められるのかを調査し、調査結果を「講習会ニーズ調査」として整理した。
- (2) 建築コンテンツWGにおいて、アンケート結果をもとに、主として建築基礎知識について近年の技術革新や法令の改正、建築業界の現状などを検討し、教育内容の整理をおこなった。
- (3) 情報通信WGにおいて、アンケート結果をもとに、情報通信技術に関連する近年の技術革新や法令の改正、建築業界への影響などを検討し、教育要素の整理をおこなった。
- (4) CAD教育WGにおいて、アンケート結果をもとに、CAD技能に関連する近年の技術革新や法令の改正、標準化についての問題などを検討し、教育内容の整理をおこなった。
- (5) 上記3WGにて検討した結果をもとに、「小テスト」など習熟度・到達度が測れる仕組みを備えた改訂版教育プログラムを作成した。
- (6) 横浜、東京、大阪の3地区で、改訂版教育プログラムを用いての実証実験をおこなった。
- (7) 実証実験の際に教育プログラムの内容及び教材についてのアンケートを実施し、実務との整合性について検証を加えた。